

環境市民会議 2019 年度第 5 回運営会記録

日時：2019 年 8 月 7 日（水）10：00～12：00

会場：本町暫定第 3 会議室

出席者：内田・柏原・小山・高坂・佐藤・瀧本・長森・林・藤崎 政策課（鳴海・萩原）

進行：小山 書記：長森

■協議事項

1. 今年度の WG（ワーキンググループ）、PJ（プロジェクト）活動について

（1）第 2 次環境基本計画評価 PJ

- ・環境市民会議の活動の評価と第 3 次計画への提言のための作業を至急開始し、9 月末を目途にとりまとめたい。
- ・環境政策課より、第 3 次環境基本計画の策定スケジュールの提示があった。

（2）新庁舎・新福祉会館「意見」フォロー PJ

- ・8 月中に作業をスタートさせる。
- ・担当部署（企画政策課）と接触し「意見」への考え方を聴取するとともに、「基本設計」にどのように反映されるか結論が出る前に確認したい。
- ・その後、市長への面談を考える。

（3）滄浪泉園と環境楽習館をつなぐ PJ

- ・以前環境政策課で検討した経緯があり、内容を確認し参考にして作業を始めたい。

（4）環境家計簿導入 PJ

- ・小平市と昭島市の「環境家計簿」の取組みを調査・検討した。
- ・小金井市としては「既存のものがあり、それを利用してもらう」という考えで、「根付いていない」と評価しているよう。
- ・行政の姿勢を変えることと、環境市民会議が独自で先行しチャレンジするか検討してはどうか意見が出された。

2. 武蔵小金井駅南口第二地区再開発事業地区での雨水浸透に関するプロジェクト報告の提出

- ・7 月 23 日、市長に提出した。
- ・9 月の定例市議会の前に、全議員に報告する。

3. NPO 環境ネットワークとの連携と環境楽習館の活用について

（1）環境ネットワークの活動の現況と楽習館の利用状況

- ・環境楽習館の運営支援と環境市民会議が返上した 3 事業を受託している。このほか国土緑化推進機構の助成金などを受け独自事業を行っている。
- ・楽習館は昨年度より 8 月休館、今期より夜間閉館としているが、利用者は年 1700 人程度。エコクラフトの取組みなどで周知拡大を図っている。

4. 小金井市、NPO 環境ネットワークとの連携について

- ・7月29日に、環境政策課（鳴海）、NPO（神村）、市民会議（小山）の三者協議を行い、連携の強化を小さな連携の積み重ねによって深めることを確認。
- ・当面11月23日・24日の環境フォーラムに連携し取り組みたい。
今年「環境と防災」がテーマ。9月初め頃には企画骨子が固まるので、協力できる企画の提案書を提出する。市民会議の参加の仕方を至急検討（ブースでの展示など）したい。

■報告事項

1. 各部会、各種審議会、及び委員会

- ・エネルギー部会…太陽光発電取組み状況の調査データをとりまとめた。HPにアップ予定。
- ・消費生活展…市民発電と食器リサイクルが出展。市民会議の各部会活動のチラシ等配布可能。

2. 環境政策課から

- ・打ち水イベント「打ち水日和 in 小金井」…8月14日14:00～フェスティバルコートにて実施。
8月9日am9:30より、さくらなみ学童にて環境市民会議の指導で水鉄砲づくりを行う。この水鉄砲を打ち水イベントに使用する。

●次回運営会：9月3日（火） am10:00～12:00 場所：未定

以上